暦予報

2019・己亥

来年の暦/カレンダーはこんなにおもしろい!

平成31年（2019）の暦トピックス

一般社団法人
日本カレンダー暦文化振興協会
Japan Association for Calendars and Culture Promotion

平成30年（2018）12月3日（月）

はじめに

暦文協

未来を予測し、新しい1日・1年を知ることは、

とても大切なことです。

そこで当協会では、暦に隠れた内容を専門家が読み解き、

暮らしに直結する情報として「暦予報」を発表しています。

平成31年（2019）も、新しい発見や

おもしろい情報が満載です。

1年を楽しく実りあるものにするために、

皆様も是非 お役立てください。

暦予報 2019・己亥

この年の記念

暦文協

ユーロ導入から 20年

昭和天皇崩御・平成改元から 30年

消費税導入から 30年

ベルリンの壁崩壊から 30年_11月10日

アポロ11号有人月面着陸から 50年_7月20日

天皇皇后両陛下ご成婚 60周年_4月10日

中華人民共和国樹立から 70年

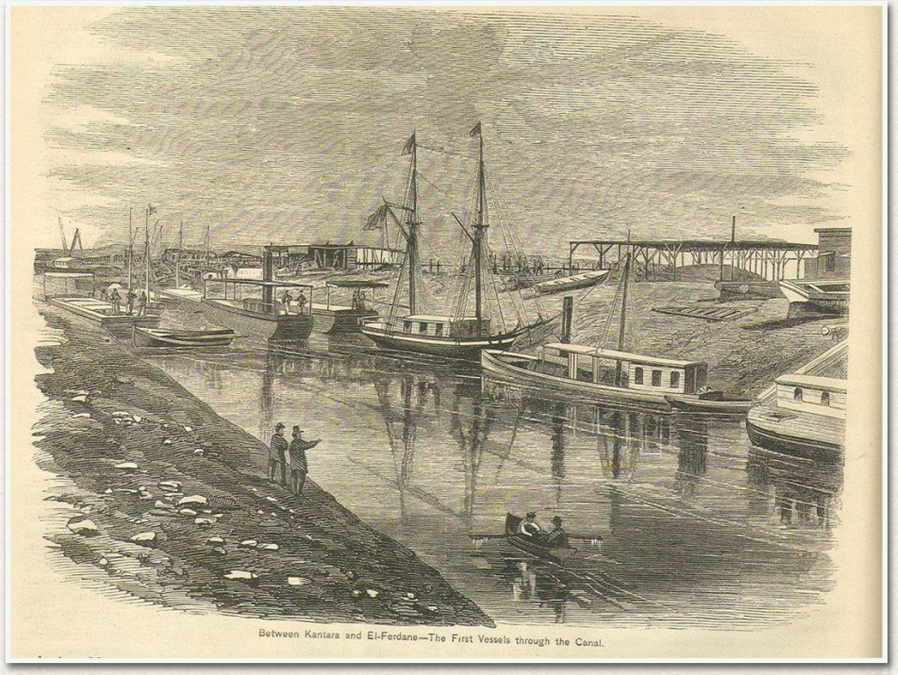
この年の記念

暦文協

お年玉付年賀はがき発売から 70年_12月1日

朝鮮半島で３・１独立運動から 100年

スエズ運河開通から 150年_11月17日



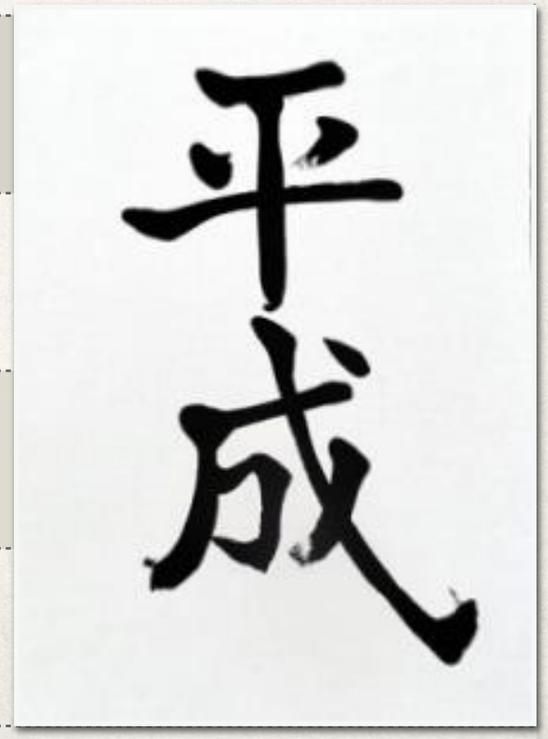
Between Kantara and El-Ferdane—The First Vessels through the Canal.

暦予報 **2019・己亥**

月ごとのトピックス

暦文協

1月4日（金）	しぶんぎ座流星群極大。日中、条件悪い。
1月6日（日）	部分日食。日本全国で見ることができる。欠け始めは午前９時少し前ごろ。 欠け具合は北に行くほど大きい。
1月6日（日） ～2月1日（金）	サッカー・アジアカップ2019UAE大会。
2月5日（火）	春節。2月4日（月）が立春なので、いわゆる「年内立春」となり、 中国の農暦では「無春年」。
2月24日（日）	天皇陛下在位30年記念式典。
3月29日（金）	イギリスがEUから脱退。
4月1日（月）	NHK連続テレビ小説100作目『なつぞら』放送開始。
4月30日（火）	国民の休日。第125代天皇が退位。



月ごとのトピックス

5月1日 （水・祝）	国民の祝日。第126代天皇が即位。平成から新元号に改元。 皇太子妃殿下が皇后、退位した陛下は上皇、皇后陛下は上皇后となる。
6月7日（金） ～7月7日（日）	2019 FIFA女子ワールドカップがフランスで開催。
6月8日（土） ～6月9日（日）	G20財務大臣・中央銀行総裁会議が福岡市のヒルトン福岡シーホークにて開催。
6月28日（金） ～6月29日（土）	第14回20か国・地域首脳会合[G20]首脳会合が大阪市の大阪国際見本市会場で開催。
8月13日（火）	ペルセウス座流星群極大。満月が近く、条件悪い。
9月20日（金） ～11月2日（土）	ラグビーワールドカップ2019が日本で開催。アジア初開催。
10月1日（火）	日本の消費税率が8%から10%に変更。同時に軽減税率制度も導入。
10月14日 （月・祝）	最後の「体育の日」（翌年から「スポーツの日」）。

月ごとのトピックス

10月22日（火）	国民の祝日。即位礼正殿の儀　皇居にて挙行される。即位の礼の中心儀式。
11月30日（土）	新国立競技場竣工予定。
12月26日（木）	金環日食。日本全国で見ることができる。欠け始めは午後2時過ぎごろ。 東日本や北日本では日食の途中で日の入りとなる。欠け具合は南に行くほど大きい。

その他のトピックス

2019年は退位、即位の日程から「祝日としての天皇誕生日」がない1年となる。

バレンタインデー　2月14日は木曜日。

ハロウィン　10月31日は木曜日。

クリスマス　12月25日は水曜日。

国による太陰太陽暦のずれ。
3月7日01時04分朔（JST）　時差のため旧暦２月の日付が日本・中国とベトナムの間でずれる。
11月27日00時06分朔（JST）　時差のため旧暦11月の日付が日本と中国・ベトナムの間でずれる。
参考　暦要項2019 https://eco.mtk.nao.ac.jp/koyomi/yoko/2019/rekiyou193.html

九星陽遁始め別説。12月23日(冬至の翌日)
干支が甲午なので流儀によってはこの日を九星陽遁始めとするケースがあり得る。

その他のトピックス

国際単位系新定義施行。
5月20日（世界計量記念日）に、国際単位系(SI)の新定義に移行する。
律暦度量衡はセットで論じられることも多く、暦からみればお隣りの分野。SI制定以来約60年目にして、最大の改定になる。
参考
https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%96%B0%E3%81%97%E3%81%84SI%E3%81%AE%E5%AE%9A%E7%BE%A9

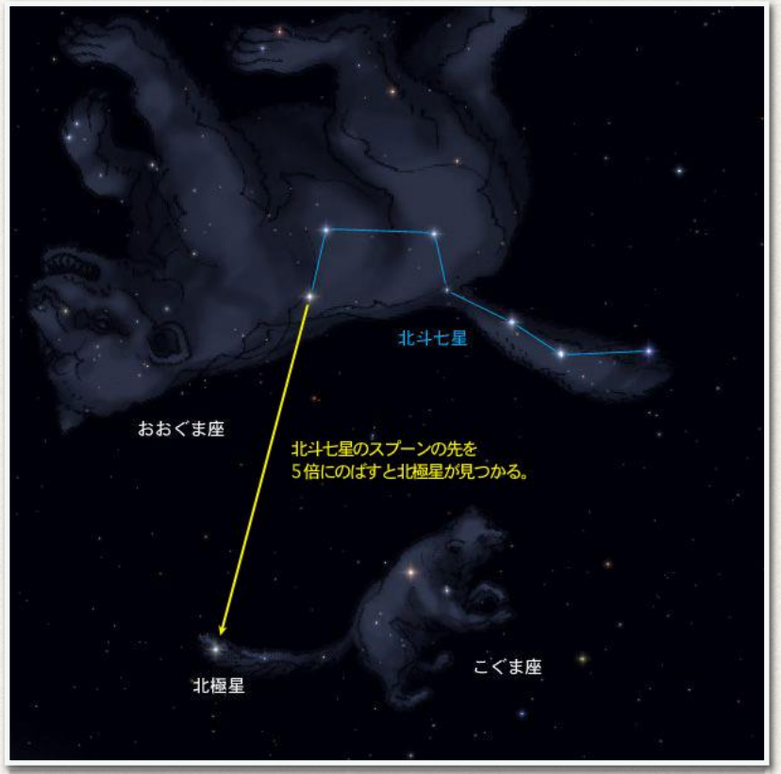
その他のトピックス

～現代の神話～「北斗の水くみ」

子供たちには北の北斗七星はおなじみです。この七つ星は水をくむ柄杓（ひしゃく）の姿に見えます。小学校の学習ではカシオペア座ともに北極星探しにつかわれます。アメリカの子供たちには春、ママが立つキッチン（台所）に架かったフライパン「ビッグディッパー（big　dipper）」として良く知られています。

西洋星座では、北斗七星は大熊座のおしりとゼウスが尻尾をもって天にあげたため少し伸びた熊の尻尾にあたります。

一方、東アジアでは秦・漢の時代、北の天文学が盛んで、当時の星図を見ると天帝は北極星、北天域に紫微垣（しびえん）と呼ぶ宮廷があります。この時代のレリーフには天帝は民を、思い長い柄（北斗七星の柄杓部分）のついた牛車（柄杓のコップの部分）に乗って多くの従者とともに年中、国の隅々を巡行し民を守った姿があります。



その他のトピックス

～現代の神話～「北斗の水くみ」

北斗七星はご存知の通り、北極星を中心にして北の天を反時計回りに回転しています。
北極星の下（南側）にくると、柄杓の柄が左（西に）に、コップの底が水平線や地平線に並行になります。この西から南を通って、再び東に昇る様子はまるで柄杓が水をくむように見えませんか？
緯度が34度近辺の北部九州北岸では西側から北極星をくぐり、コップの底が水面にかかり、まるで“北斗の水くみ”が起こるのです。
実際、地図を広げると緯度が34度くらいで北に水平線のある場所は、この九州北部海岸、韓国済州島、地中海を望むリビア、チュニジア、アメリカ・ロス海岸の一部しか見つかりません。
地平に近づくと壮大な天の柄杓（ひしゃく）が傾き、水平線に降りてきて水面をすくうように見えるのです。われわれはこのロマンチックな情景を「北斗の水くみ」として楽しんでいます。
皆さんも、カレンダーに印をつけておいて、夏か秋、北部九州を訪れ、北のロマンを味わってみてはどうでしょうか？

その他のトピックス

～現代の神話～「北斗の水くみ」

いつ？

7月下旬	8月	9月	10月	11月初旬
2時	0時	22時	20時	

上は1年の季節（月）、下の時間が北斗七星のコップが水平線と平行になる目安の時刻（24時制）。
この夏から秋にかけてこの地域ではいろいろなにイベント（観望会）がありますし、宗像市には「北斗の水くみ海浜公園」が設置され、駐車場やトイレもあります。
詳しくはWeb「むなかた電子博物館」をご覧ください。
また、宗像海岸に続く波津海岸をもつ岡垣町ではこのロマンチックな姿にちなんで、2017年、町の名を冠した小惑星「Okagakimachi」が誕生しました。

暦予報 2019・己亥

連休情報

暦文協

※連休　前提＝土曜日と日曜日、祝日を休日とする会社員／学生の場合

３連休は次の８回

１月12日（土）～１月14日（月）（成人の日・月）
２月９日（土）～２月11日（月）（建国記念の日・月）
７月13日（土）～15日（月）（海の日・月）
８月10日（土）～12日（月）（山の日＝日→振替休日・月）
９月14日（土）～16日（月）（敬老の日・月）
９月21日（土）～23日（月）（秋分の日・月）
10月12日（土）～14日（月）（体育の日・月）
11月２日（土）～４日（月）（文化の日＝日→振替休日・月）

※2018年は９回、2017年は７回、2016年は9回

4連休は無い

※2018年は1回、2017年は無い

5連休は無い

※2018年は無い、2017年は１回

連休情報

暦文協

✤ 大型連休（春）

４月27日（土）
４月29日（月・昭和の日_祝日）
４月30日（火・退位の日_国民の休日）
５月１日（水・即位の日_祝日）
５月２日（木・国民の休日）
５月３日（金・憲法記念日_祝日）
５月４日（土・みどりの日_祝日）
５月５日（日・こどもの日_祝日）
５月６日（月・振替休日）

新天皇即位日の祝日化により「（4/27土曜日を含む）10連休」
イースターとラマダーンに挟まれて10連休がある。

［ア］イースター（カトリック、プロテスタント）4月21日（日）
［イ］イースター（東方正教会）4月28日（日）
［ウ］ラマダーンの開始（予定）　5月6日（月・休日）

暦予報 2019・己亥

連休情報

- **夏休み（お盆休み）**
  8月11日の「山の日」が（日）のため、8月12日（月）が振替休日。
  以後、慣例によるが、８月13日（火）の扱いにより長期化（10日から18日）する場合も。

- **大型連休（秋）**
  ３連休が２週連続するが、大型ではない。
  ※2018年と同じ

一般社団法人
日本カレンダー暦文化振興協会
Japan Association for Calendars and Culture Promotion